

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年8月9日
【四半期会計期間】	第133期第1四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）
【会社名】	エコナックホールディングス株式会社
【英訳名】	ECONACH HOLDINGS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 奥村 英夫
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋小伝馬町16番8号 共同ビル （同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」 で行っております。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都世田谷区代沢5丁目18番1号 代沢カラバッシュビル
【電話番号】	03（5712）2311（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 菅原 勲
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第132期 第1四半期連結 累計期間	第133期 第1四半期連結 累計期間	第132期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(千円)	218,369	248,575	1,005,926
経常利益(千円)	18,444	31,965	135,082
四半期(当期)純利益(千円)	18,027	25,943	125,655
四半期包括利益又は包括利益(千円)	18,281	30,228	135,102
純資産額(千円)	3,333,792	3,480,803	3,450,575
総資産額(千円)	4,075,398	4,488,681	4,454,172
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	0.25	0.36	1.77
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	76.3	72.4	72.4
営業活動によるキャッシュ・フロー(千円)	31,130	9,113	141,197
投資活動によるキャッシュ・フロー(千円)	2,483	6,253	542,298
財務活動によるキャッシュ・フロー(千円)	16,251	6,547	252,542
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	898,005	733,363	737,050

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移につきましては記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要などを背景に景気は緩やかに回復しつつあるものの、欧州債務問題や円高の長期化などにより先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の下、不動産事業では、港区西麻布及び世田谷区代沢のテナントビル賃貸並びに新宿区の駐車場運営による安定した収益を確保することができ、売上高は前年同四半期に比べ6.5%増加し60,883千円、営業利益は前年同四半期に比べ6.0%増加し46,282千円となりました。

繊維事業では、4月・5月に夏物の刺繍レースの受注が好調だったため、売上高は前年同四半期に比べ12.3%増加し12,645千円、営業損失は前年同四半期に比べ445千円縮小し858千円となりました。

化粧品事業では、大手取引先の安定したOEM受注を得ることができ、売上高は前年同四半期に比べ20.5%増加し89,017千円、営業利益は前年同四半期に比べ524.4%増加し3,716千円となりました。

ゴルフ場事業では、伊豆スカイラインカントリー倶楽部にて各種ゴルフコンペ企画の充実及びコースコンディションやサービスの更なる向上を図ったことなどにより来場者数が増えたため、売上高は前年同四半期に比べ13.1%増加し86,029千円、営業利益は前年同四半期に比べ369.2%増加し10,383千円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は248,575千円（前年同四半期比13.8%増）、営業利益は20,825千円（前年同四半期比252.5%増）、経常利益は31,965千円（前年同四半期比73.3%増）、四半期純利益は25,943千円（前年同四半期比43.9%増）となり、すべてにおいて伸長させることができました。

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金は減少したものの商品及び製品などたな卸資産の増加などにより前連結会計年度末と比較して34,509千円増加し、4,488,681千円となりました。

負債は、未払法人税等は減少したものの買掛金の増加などにより前連結会計年度末と比較して4,280千円増加し、1,007,877千円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加などにより前連結会計年度末と比較して30,228千円増加し、3,480,803千円となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、3,686千円減少し、当第1四半期連結会計期間末残高は733,363千円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、9,113千円（前年同四半期は31,130千円の獲得）となりました。これは、主に売上債権の減少や仕入債務の増加によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、6,253千円（前年同四半期は2,483千円の使用）となりました。これは、有形固定資産の取得によるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、6,547千円（前年同四半期は16,251千円の使用）となりました。これは、主に長期借入金の返済によるものであります。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	280,000,000
計	280,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成24年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	71,177,466	71,177,466	東京証券取引所 (市場第一部)	権利内容に何ら 限定のない当社 における標準と なる株式であり、 単元株式数は 1,000株でありま す。
計	71,177,466	71,177,466	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高(千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日	-	71,177	-	3,224,825	-	-

## (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 31,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 71,107,000	71,107	-
単元未満株式	普通株式 39,466	-	-
発行済株式総数	71,177,466	-	-
総株主の議決権	-	71,107	-

## 【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
エコナックホールディングス株式会社	東京都中央区日本橋 小伝馬町16番8号	31,000	-	31,000	0.04
計	-	31,000	-	31,000	0.04

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、フロンティア監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	737,050	733,363
受取手形及び売掛金	126,622	110,852
商品及び製品	13,883	22,927
仕掛品	1,450	6,024
原材料及び貯蔵品	38,583	45,589
販売用不動産	303,212	304,362
短期貸付金	298,907	294,974
その他	12,154	48,373
貸倒引当金	5,534	5,031
流動資産合計	1,526,330	1,561,436
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	270,870	270,966
機械装置及び運搬具（純額）	39,370	40,238
工具、器具及び備品（純額）	8,066	7,217
コース勘定	362,224	362,224
土地	2,093,321	2,093,321
建設仮勘定	1,325	1,325
有形固定資産合計	2,775,179	2,775,295
<b>無形固定資産</b>		
のれん	16,383	15,213
借地権	129,024	129,024
電話加入権	2,086	2,086
ソフトウェア	488	456
無形固定資産合計	147,982	146,780
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	600	600
その他	16,159	12,985
貸倒引当金	12,080	8,415
投資その他の資産合計	4,679	5,169
<b>固定資産合計</b>	2,927,842	2,927,245
<b>資産合計</b>	4,454,172	4,488,681

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	19,564	32,934
1年内返済予定の長期借入金	25,044	25,044
未払法人税等	9,184	3,585
賞与引当金	-	610
未払金	31,986	29,671
その他	86,070	89,307
流動負債合計	171,850	181,152
固定負債		
長期借入金	308,268	302,007
資産除去債務	2,726	2,742
再評価に係る繰延税金負債	47,037	47,037
長期預り金	445,892	447,423
その他	27,821	27,515
固定負債合計	831,746	826,725
負債合計	1,003,596	1,007,877
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,224,825	3,224,825
利益剰余金	82,598	56,655
自己株式	2,049	2,049
株主資本合計	3,140,177	3,166,120
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	84,941	84,941
その他の包括利益累計額合計	84,941	84,941
少数株主持分	225,456	229,741
純資産合計	3,450,575	3,480,803
負債純資産合計	4,454,172	4,488,681



## ( 2 ) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】

## 【 四半期連結損益計算書 】

## 【 第 1 四半期連結累計期間 】

( 単位 : 千円 )

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
売上高	218,369	248,575
売上原価	131,907	149,940
売上総利益	86,461	98,635
販売費及び一般管理費	80,553	77,809
営業利益	5,907	20,825
営業外収益		
受取利息	11,657	11,067
受取配当金	12	11
その他	2,642	4,350
営業外収益合計	14,311	15,428
営業外費用		
支払利息	293	2,270
有償見本費用	600	1,100
減価償却費	666	367
その他	214	550
営業外費用合計	1,774	4,288
経常利益	18,444	31,965
特別利益		
固定資産売却益	-	156
負ののれん発生益	1,218	-
特別利益合計	1,218	156
特別損失		
固定資産除却損	63	171
特別損失合計	63	171
税金等調整前四半期純利益	19,600	31,950
法人税、住民税及び事業税	1,319	1,728
法人税等調整額	-	6
法人税等合計	1,319	1,721
少数株主損益調整前四半期純利益	18,281	30,228
少数株主利益	253	4,285
四半期純利益	18,027	25,943

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	18,281	30,228
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	18,281	30,228
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,027	25,943
少数株主に係る四半期包括利益	253	4,285

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	19,600	31,950
減価償却費	10,481	10,115
のれん償却額	1,170	1,170
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,737	4,166
賞与引当金の増減額(は減少)	-	610
受取利息及び受取配当金	11,669	11,078
支払利息	293	2,270
長期前払費用償却額	1,239	-
有形固定資産売却損益(は益)	-	156
有形固定資産除却損	63	171
負ののれん発生益	1,218	-
売上債権の増減額(は増加)	7,891	15,769
たな卸資産の増減額(は増加)	6,874	21,773
仕入債務の増減額(は減少)	1,612	13,369
未払消費税等の増減額(は減少)	892	8,695
長期預り金の増減額(は減少)	5,700	1,530
その他の資産の増減額(は増加)	1,400	33,070
その他の負債の増減額(は減少)	7,235	7,593
小計	25,354	5,608
利息及び配当金の受取額	11,667	11,076
利息の支払額	153	2,270
法人税等の支払額	5,736	5,300
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,130	9,113
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	851	10,500
有形固定資産の売却による収入	-	285
無形固定資産の取得による支出	550	-
差入保証金の回収による収入	-	28
子会社株式の取得による支出	4,500	-
貸付金の回収による収入	3,417	3,932
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,483	6,253
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	15,000	-
長期借入金の返済による支出	1,251	6,261
リース債務の返済による支出	-	286
財務活動によるキャッシュ・フロー	16,251	6,547
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	12,396	3,686
現金及び現金同等物の期首残高	885,609	737,050
現金及び現金同等物の四半期末残高	898,005	733,363

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
現金及び預金勘定	898,005千円	733,363千円
現金及び現金同等物	898,005	733,363

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	不動産 (千円)	繊維 (千円)	化粧品 (千円)	ゴルフ場 (千円)	合計 (千円)
売上高					
外部顧客への売上高	57,153	11,256	73,894	76,064	218,369
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	36	-	36
計	57,153	11,256	73,930	76,064	218,405
セグメント利益又は損失( )	43,676	1,304	595	2,212	45,180

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	45,180
のれんの償却額	1,170
全社費用(注)	38,102
四半期連結損益計算書の営業利益	5,907

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	不動産 (千円)	繊維 (千円)	化粧品 (千円)	ゴルフ場 (千円)	合計 (千円)
売上高					
外部顧客への売上高	60,883	12,645	89,017	86,029	248,575
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	107	-	107
計	60,883	12,645	89,125	86,029	248,683
セグメント利益又は損失( )	46,282	858	3,716	10,383	59,523

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	59,523
のれんの償却額	1,170
全社費用(注)	37,526
四半期連結損益計算書の営業利益	20,825

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	25銭	36銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	18,027	25,943
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	18,027	25,943
普通株式の期中平均株式数(株)	71,146,784	71,145,984

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年8月9日

エコナックホールディングス株式会社  
取締役会 御中

### フロンティア監査法人

指定社員 公認会計士 遠田 晴夫 印  
業務執行社員

指定社員 公認会計士 本郷 大輔 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているエコナックホールディングス株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、エコナックホールディングス株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は四半期報告書提出会社が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲には、XBRLデータ自体は含まれていません。